



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月18日

上場取引所 東

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社
 コード番号 2915 URL <https://www.kenkomayo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 炭井 孝志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 伊藤 和敬 TEL 03-5318-7530
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	74,480	0.7	2,900	△6.9	3,003	△4.5	2,058	△10.4
2019年3月期	73,989	1.7	3,116	△25.3	3,145	△24.2	2,296	△20.2

(注) 包括利益 2020年3月期 1,696百万円 (△31.5%) 2019年3月期 2,476百万円 (△22.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	124.94	—	6.1	4.5	3.9
2019年3月期	139.40	—	7.2	4.7	4.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 67百万円 2019年3月期 3百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	63,767	34,103	53.5	2,069.93
2019年3月期	70,105	32,900	46.9	1,996.95

(参考) 自己資本 2020年3月期 34,103百万円 2019年3月期 32,900百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	5,575	△2,098	△3,657	10,747
2019年3月期	2,405	△8,895	4,345	10,927

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	494	21.5	1.5
2020年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00	510	24.8	1.5
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当及び配当性向予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難であることから未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明であり、現時点で合理的な予想の算定を行うことが困難であることから未定としております。なお、業績予想の発表が可能となり次第、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	16,476,000株	2019年3月期	16,476,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	578株	2019年3月期	578株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	16,475,422株	2019年3月期	16,475,490株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	59,740	△1.0	2,393	△23.0	2,532	△28.1	1,770	△39.1
2019年3月期	60,321	△0.8	3,107	△5.1	3,520	3.5	2,907	27.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	107.44	—
2019年3月期	176.50	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
2020年3月期	50,544	63.1	31,899	63.1	1,936.17		1,936.17	
2019年3月期	56,280	55.0	30,932	55.0	1,877.49		1,877.49	

(参考) 自己資本 2020年3月期 31,899百万円 2019年3月期 30,932百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明であり、現時点で合理的な予想の算定を行うことが困難であることから未定としております。なお、業績予想の発表が可能となり次第、速やかに公表いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明であり、現時点で合理的な予想の算定を行うことが困難であることから未定としております。なお、上記予想に関する事項は、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、機関投資家及びアナリスト向け決算説明会は取り止めることとさせて頂きました。なお、説明資料につきましては、5月26日（火）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	7
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表及び主な注記	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）におけるわが国の経済は、10月からの消費税率引き上げによる個人消費の落ち込みに加えて、2月以降は新型コロナウイルスの影響による訪日外国人の大幅な減少や旅行・外出の自粛、イベントの中止などの経済活動の停滞により、景気に急速な落ち込みがみられました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、前連結会計年度より次の成長へ向けて中期経営計画『KENKO Value Action ～価値の創造～』を進めております。この中期経営計画の基本方針は、「CSV経営（Creating Shared Value）～共通価値の創造～」とし、社会と企業の両方に価値を生み出す企業活動を実践していくため、次の5つのテーマを掲げております。

- (I) 地域貢献 ～地域貢献度No.1企業を目指して～
- (II) 環境・資源 ～資源・エネルギー利用の効率化～
- (III) サプライチェーン ～サプライチェーンの短縮と事業活動の改革～
- (IV) ソリューション ～「技術・サービス」の事業化～
- (V) 働き方 ～従業員満足度の向上～

以上の「CSV経営」における5つのテーマに基づいた3つの事業戦略は次のとおりであります。

- ①お客様と共にビジネスを創造・・・お客様の抱える課題に対して、当社の「商品力」「メニュー提案力」「情報発信力」等のノウハウを活かし、共に課題解決に取り組む
- ②“創り・応え・拡げる”生産体制・・・お客様への安定した商品供給体制の構築によりグループ総合力で業務用市場を支えていく
- ③サラダ料理を世界へ・・・サラダ料理を世界に向けて提案・拡販を目指す

当連結会計年度における売上高及び利益の概況は以下のとおりであります。

(売上高)

売上高につきましては、2月以降は新型コロナウイルスによる影響がありましたが、前連結会計年度より稼働を開始した株式会社ダイエットクック白老及び株式会社関東ダイエットクック神奈川工場の売上高増加により増収を確保することができました。

(利益)

利益につきましては、株式会社ダイエットクック白老及び株式会社関東ダイエットクック神奈川工場が収益改善を進めてまいりましたが、新生産拠点稼働に伴う固定費の増加により減益となりました。

当連結会計年度における連結売上高は74,480百万円（前連結会計年度比490百万円の増加、0.7%増）、連結営業利益は2,900百万円（前連結会計年度比215百万円の減少、6.9%減）、連結経常利益は3,003百万円（前連結会計年度比141百万円の減少、4.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,058百万円（前連結会計年度比238百万円の減少、10.4%減）となりました。

当連結会計年度における各報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(調味料・加工食品事業)

サラダ・総菜類につきましては、主力商品の1kg形態のポテトサラダや素材を生かしたチルドポテトが伸長しました。製パン向けのツナサラダやコンビニエンスストア向けのゴボウサラダが増加し、外食向けでは大豆ミートを使用した商品が増加しました。

タマゴ加工品につきましては、天候不順等の要因による消費低迷やメニューの減少等により、コンビニエンスストア向けのタマゴサラダ等が減少しました。

マヨネーズ・ドレッシング類につきましては、スーパー向け袋タイプのマヨネーズやバターを使用したソースの商品が伸長しましたが、大型形態のマヨネーズや1Lタイプのドレッシングが減少しました。

この結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は59,093百万円（前連結会計年度比596百万円の減少、1.0%減）、セグメント利益は2,532百万円（前連結会計年度比687百万円の減少、21.4%減）となりました。

(総菜関連事業等)

前連結会計年度より稼働を開始した株式会社ダイエットクック白老、株式会社関東ダイエットクック神奈川工場や基盤商材であるポテトサラダの伸長により増加しました。

この結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は14,250百万円（前連結会計年度比1,144百万円の増加、8.7%増）、セグメント利益は396百万円（前連結会計年度末は83百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、25,617百万円(前連結会計年度比2,327百万円の減少、8.3%減)となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1,999百万円の減少したこと等によるものであります。

(なお、現金及び預金の詳しい内容につきましては連結キャッシュ・フロー計算書をご参照ください。)

固定資産は、38,149百万円(前連結会計年度比4,010百万円の減少、9.5%減)となりました。これは主に機械装置及び運搬具の減価償却累計額が1,976百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は63,767百万円(前連結会計年度比6,337百万円の減少、9.0%減)となりました。

(負債)

流動負債は、15,757百万円(前連結会計年度比4,566百万円の減少、22.5%減)となりました。これは主に買掛金が1,709百万円、未払金が1,328百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、13,907百万円(前連結会計年度比2,973百万円の減少、17.6%減)となりました。これは主に長期借入金が1,513百万円減少、長期未払金が1,366百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は29,664百万円(前連結会計年度比7,540百万円の減少、20.3%減)となりました。

(純資産)

純資産合計は、34,103百万円(前連結会計年度比1,202百万円の増加、3.7%増)となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。また、自己資本比率は53.5%(前連結会計年度比6.6ポイント増)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、10,747百万円（前連結会計年度比179百万円の減少）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5,575百万円（前連結会計年度比3,170百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益3,104百万円、減価償却費2,966百万円によるものがあります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2,098百万円（前連結会計年度比6,797百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,017百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3,657百万円（前連結会計年度比8,002百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,696百万円、割賦債務の返済による支出1,459百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	45.6	55.3	47.8	46.9	53.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	81.7	87.6	88.8	51.6	52.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.8	1.6	2.8	7.9	2.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	64.3	90.7	71.9	24.8	55.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期(2021年3月期)の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が進んだ場合、幅広い業態での企業活動の縮小や店舗休業など経済の停滞状態が長期化し、個人消費や輸出の大幅な悪化に加えて企業業績の下振れに伴う大規模な雇用調整や設備投資計画の見直しなど経済への悪影響が更に拡大することが懸念されております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、次の成長へ向けて新設・増設した4つの生産拠点の軌道乗せを完了させることを最重要課題とするとともに、グローバル化の更なる推進及び利益管理の徹底に取り組んでまいります。

2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルスの鎮静化の時期やその後の景気回復度合い等の先行きが不透明であり、現時点で当社グループの業績に与える影響について合理的な算定を行うことが困難であることから未定としております。今後、合理的な予想の算定が可能となり次第、速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、企業価値の向上を目指すとともに、株主の皆様へ安定した利益還元を維持継続し、配当性向を向上させることを経営の重要課題としております。

当期の期末配当金におきましては、16円とする議案を定時株主総会に付議させていただきます。これにより、中間配当金15円を加えた年間配当金は1株当たり31円となります。

また、次期(2021年3月期)の配当金は、前述のとおり業績予想を未定としていることから配当予想も未定とし、業績予想の開示が可能となり次第、速やかに公表いたします。

内部留保金につきましては、安定した利益配分の財源として今後の成長に向けて事業基盤強化を進めてまいります。また「積極投資と財務の健全性維持との両立を目指す」という財務目標を達成させ、株主の皆様への一層の利益還元を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,927	10,747
受取手形及び売掛金	13,398	11,399
商品及び製品	1,900	2,060
仕掛品	10	9
原材料及び貯蔵品	1,038	958
未収入金	89	127
その他	580	317
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	27,945	25,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,275	21,047
減価償却累計額	△7,682	△8,445
建物及び構築物 (純額)	11,593	12,601
機械装置及び運搬具	23,355	26,546
減価償却累計額	△11,853	△13,830
機械装置及び運搬具 (純額)	11,501	12,716
工具、器具及び備品	1,698	1,733
減価償却累計額	△1,177	△1,316
工具、器具及び備品 (純額)	521	416
土地	5,900	5,903
リース資産	84	73
減価償却累計額	△15	△12
リース資産 (純額)	69	61
建設仮勘定	5,921	126
有形固定資産合計	35,507	31,826
無形固定資産		
投資その他の資産	201	169
投資有価証券	5,041	4,666
退職給付に係る資産	75	151
繰延税金資産	287	308
差入保証金	362	355
保険積立金	569	560
その他	146	138
貸倒引当金	△32	△26
投資その他の資産合計	6,450	6,153
固定資産合計	42,159	38,149
資産合計	70,105	63,767

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,648	7,938
電子記録債務	903	715
1年内返済予定の長期借入金	1,696	1,513
未払金	4,933	3,605
未払法人税等	604	439
賞与引当金	435	434
役員賞与引当金	17	16
売上割戻引当金	17	18
営業外電子記録債務	921	1
その他	1,146	1,072
流動負債合計	20,323	15,757
固定負債		
長期借入金	10,085	8,571
繰延税金負債	39	41
役員退職慰労引当金	468	382
退職給付に係る負債	395	394
長期未払金	5,792	4,425
その他	98	90
固定負債合計	16,880	13,907
負債合計	37,204	29,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424	5,424
資本剰余金	5,691	5,691
利益剰余金	20,626	22,190
自己株式	△1	△1
株主資本合計	31,740	33,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,227	899
為替換算調整勘定	△14	△44
退職給付に係る調整累計額	△54	△56
その他の包括利益累計額合計	1,159	797
純資産合計	32,900	34,103
負債純資産合計	70,105	63,767

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	73,989	74,480
売上原価	55,778	56,635
売上総利益	18,210	17,844
販売費及び一般管理費	15,094	14,944
営業利益	3,116	2,900
営業外収益		
持分法による投資利益	3	67
受取賃貸料	15	15
受取利息及び配当金	36	40
その他	128	90
営業外収益合計	184	213
営業外費用		
支払利息	97	100
為替差損	49	1
その他	9	8
営業外費用合計	155	110
経常利益	3,145	3,003
特別利益		
投資有価証券売却益	13	—
補助金収入	156	159
その他	562	10
特別利益合計	732	169
特別損失		
減損損失	44	4
災害による損失	22	2
固定資産除却損	19	3
賃貸借契約解約損	—	53
その他	10	3
特別損失合計	96	68
税金等調整前当期純利益	3,781	3,104
法人税、住民税及び事業税	1,266	958
法人税等調整額	217	88
法人税等合計	1,484	1,046
当期純利益	2,296	2,058
親会社株主に帰属する当期純利益	2,296	2,058

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,296	2,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	△328
退職給付に係る調整額	32	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△30
その他の包括利益合計	180	△361
包括利益	2,476	1,696
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,476	1,696

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,424	5,691	18,890	△1	30,004
当期変動額					
剰余金の配当			△560		△560
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,296		2,296
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,736	△0	1,736
当期末残高	5,424	5,691	20,626	△1	31,740

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,064	2	△87	979	30,984
当期変動額					
剰余金の配当					△560
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,296
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	163	△16	32	180	180
当期変動額合計	163	△16	32	180	1,916
当期末残高	1,227	△14	△54	1,159	32,900

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,424	5,691	20,626	△1	31,740
当期変動額					
剰余金の配当			△494		△494
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,058		2,058
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,564	—	1,564
当期末残高	5,424	5,691	22,190	△1	33,305

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,227	△14	△54	1,159	32,900
当期変動額					
剰余金の配当					△494
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,058
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△328	△30	△2	△361	△361
当期変動額合計	△328	△30	△2	△361	1,202
当期末残高	899	△44	△56	797	34,103

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,781	3,104
減価償却費	2,077	2,966
減損損失	44	4
固定資産圧縮損	—	851
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37	△15
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△550	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	28	△85
受取利息及び受取配当金	△36	△40
支払利息	97	100
固定資産除却損	19	3
補助金収入	△156	△1,020
売上債権の増減額 (△は増加)	167	1,999
たな卸資産の増減額 (△は増加)	28	△79
仕入債務の増減額 (△は減少)	△213	△1,897
前払費用の増減額 (△は増加)	8	△171
未払金の増減額 (△は減少)	△999	△655
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△268	535
未払費用の増減額 (△は減少)	20	△85
その他の資産の増減額 (△は増加)	△197	344
その他の負債の増減額 (△は減少)	△40	△67
その他	△15	△67
小計	3,824	5,718
利息及び配当金の受取額	36	40
利息の支払額	△97	△100
補助金の受取額	156	1,020
法人税等の支払額	△1,515	△1,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,405	5,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,635	△2,017
無形固定資産の取得による支出	△96	△51
投資有価証券の取得による支出	△21	△22
投資有価証券の売却による収入	19	—
関係会社株式の取得による支出	△2,164	—
その他	3	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,895	△2,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,960	—
長期借入金の返済による支出	△1,475	△1,696
配当金の支払額	△559	△494
割賦取引による収入	3,729	—
割賦債務の返済による支出	△2,303	△1,459
その他	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,345	△3,657
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,145	△179
現金及び現金同等物の期首残高	13,072	10,927
現金及び現金同等物の期末残高	10,927	10,747

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において「固定資産」の「その他」に含めていた「退職給付に係る資産」は重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定資産」の「その他」に表示していた221百万円は、「退職給付に係る資産」75百万円、「その他」146百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「税金等調整前当期純利益」に含めていた「補助金収入」及び「補助金の受取額」は重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「小計」に表示していた3,980百万円は、「補助金収入」△156百万円、「補助金の受取額」156百万円、「小計」3,824百万円として組み替えております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは「調味料・加工食品事業」及び「総菜関連事業等」を営んでおり、業種別に区分された事業ごとに、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは業種別に区分された事業を基盤としたセグメントから構成されており、「調味料・加工食品事業」及び「総菜関連事業等」の2つを報告セグメントとしております。「調味料・加工食品事業」は調理加工食品、マヨネーズ・ドレッシング類及びタマゴ加工品の製造・販売をしております。「総菜関連事業等」はフレッシュ総菜（日配サラダ・惣菜）の製造及び量販店等への販売、また主に、当社からの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	59,689	13,105	72,795	1,194	73,989	—	73,989
セグメント間の内部売上高又は振替高	631	8,753	9,384	—	9,384	△9,384	—
計	60,321	21,859	82,180	1,194	83,374	△9,384	73,989
セグメント利益又は損失 (△)	3,219	△83	3,135	6	3,142	2	3,145
セグメント資産	53,784	17,802	71,587	2,672	74,260	△4,154	70,105
その他の項目							
減価償却費	1,365	708	2,074	3	2,077	—	2,077
受取利息	5	0	5	0	5	△5	0
支払利息	30	71	101	0	102	△5	97
持分法による投資利益又は損失 (△)	—	—	—	3	3	—	3
持分法適用会社への投資額	—	—	—	2,495	2,495	—	2,495
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,419	811	7,230	0	7,230	—	7,230

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額2百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額△4,154百万円は、セグメント間の債権の相殺消去によるものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	59,093	14,250	73,344	1,136	74,480	—	74,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	648	8,138	8,786	—	8,786	△8,786	—
計	59,742	22,388	82,131	1,136	83,267	△8,786	74,480
セグメント利益又は損失(△)	2,532	396	2,928	80	3,009	△6	3,003
セグメント資産	48,012	16,198	64,211	2,691	66,902	△3,134	63,767
その他の項目							
減価償却費	2,187	776	2,963	3	2,966	—	2,966
受取利息	9	0	9	0	9	△7	1
支払利息	38	68	106	0	107	△7	100
持分法による投資利益又は損失(△)	—	—	—	67	67	—	67
持分法適用会社への投資額	—	—	—	2,532	2,532	—	2,532
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	5,844	125	5,969	—	5,969	—	5,969

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額△3,134百万円は、セグメント間の債権の相殺消去によるものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,996円95銭	2,069円93銭
1株当たり当期純利益	139円40銭	124円94銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,296	2,058
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,296	2,058
普通株式の期中平均株式数 (株)	16,475,490	16,475,422

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,325	7,750
受取手形	317	112
売掛金	11,523	9,850
電子記録債権	27	33
商品及び製品	1,913	2,073
仕掛品	1	2
原材料及び貯蔵品	774	666
前払費用	72	80
関係会社短期貸付金	547	257
未収入金	140	105
その他	326	208
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	23,969	21,137
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,318	6,554
構築物	332	453
機械及び装置	8,246	9,815
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	348	286
土地	4,338	4,338
リース資産	58	52
建設仮勘定	5,921	126
有形固定資産合計	24,564	21,627
無形固定資産		
無形固定資産合計	164	137
投資その他の資産		
投資有価証券	2,284	1,897
関係会社株式	3,538	3,888
関係会社長期貸付金	600	550
繰延税金資産	187	222
差入保証金	278	270
保険積立金	569	560
前払年金費用	147	212
その他	81	133
貸倒引当金	△107	△94
投資その他の資産合計	7,581	7,641
固定資産合計	32,310	29,406
資産合計	56,280	50,544

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	903	715
買掛金	9,202	7,350
1年内返済予定の長期借入金	1,563	1,231
未払金	3,753	2,765
未払費用	522	494
未払法人税等	440	364
賞与引当金	343	352
役員賞与引当金	15	13
売上割戻引当金	7	7
営業外電子記録債務	921	1
その他	111	48
流動負債合計	17,786	13,345
固定負債		
長期借入金	4,664	3,432
長期未払金	1,962	1,042
退職給付引当金	386	371
役員退職慰労引当金	463	376
その他	83	76
固定負債合計	7,561	5,299
負債合計	25,348	18,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424	5,424
資本剰余金		
資本準備金	5,691	5,691
資本剰余金合計	5,691	5,691
利益剰余金		
利益準備金	138	138
その他利益剰余金		
別途積立金	14,999	16,699
繰越利益剰余金	3,587	3,163
利益剰余金合計	18,725	20,001
自己株式	△1	△1
株主資本合計	29,839	31,115
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,092	783
評価・換算差額等合計	1,092	783
純資産合計	30,932	31,899
負債純資産合計	56,280	50,544

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	60,321	59,740
売上原価	45,739	46,021
売上総利益	14,582	13,719
販売費及び一般管理費	11,475	11,326
営業利益	3,107	2,393
営業外収益		
受取賃貸料	58	58
受取利息及び配当金	340	44
貸倒引当金戻入額	1	11
その他	100	70
営業外収益合計	501	185
営業外費用		
支払利息	30	38
為替差損	49	1
その他	8	6
営業外費用合計	87	46
経常利益	3,520	2,532
特別利益		
補助金収入	37	72
その他	561	—
特別利益合計	599	72
特別損失		
減損損失	24	4
災害による損失	7	0
固定資産除却損	3	1
ゴルフ会員権売却損	1	—
特別損失合計	36	6
税引前当期純利益	4,083	2,598
法人税、住民税及び事業税	996	765
法人税等調整額	178	63
法人税等合計	1,175	828
当期純利益	2,907	1,770

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	5,424	5,691	5,691	138	13,299	2,939	16,378
当期変動額							
別途積立金の積立					1,700	△1,700	—
剰余金の配当						△560	△560
当期純利益						2,907	2,907
自己株式の取得							
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	1,700	647	2,347
当期末残高	5,424	5,691	5,691	138	14,999	3,587	18,725

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1	27,492	944	944	28,436
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△560			△560
当期純利益		2,907			2,907
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)			148	148	148
当期変動額合計	△0	2,347	148	148	2,495
当期末残高	△1	29,839	1,092	1,092	30,932

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	5,424	5,691	5,691	138	14,999	3,587	18,725
当期変動額							
別途積立金の積立					1,700	△1,700	—
剰余金の配当						△494	△494
当期純利益						1,770	1,770
自己株式の取得							
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	1,700	△424	1,275
当期末残高	5,424	5,691	5,691	138	16,699	3,163	20,001

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1	29,839	1,092	1,092	30,932
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△494			△494
当期純利益		1,770			1,770
自己株式の取得					—
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)			△309	△309	△309
当期変動額合計	—	1,275	△309	△309	966
当期末残高	△1	31,115	783	783	31,899